

# 決算特別委員会が行く!!



令和7年4月の開校目指して、工事が急ピッチで進む!



おくの義務教育学校一体型校舎建設

令和5年度支出済額

12億303万8067円

令和6年度と合わせた総事業費

約38億7000万円

旧牛久第二中学校の3階建の校舎を長寿命化改修し、その北側に2階建ての増築校舎を建設します。また給食室や武道場につながる2階建ての開放廊下、生徒を迎え入れる入り口にはビッググループを配置し、駐輪場と昇降口をつなぐ屋根付き歩廊を整備します。おくの義務教育学校の300人近い1年生から9年生の学び舎のお披露目はまもなくです。



## 市内には7か所の市営住宅があるものの、入居率は低く・・・

### 市営神谷住宅の長寿命化工事

市営神谷住宅7号棟及び駐輪場屋根・外壁改修工事等

支出済額 1386万円

市営神谷住宅6・7・8号棟給水ポンプ更新工事

支出済額 324万5000円

1994年に建設された6号棟から8号棟は、1棟が3階建て6戸の部屋があり間取りは3DKとなっています。神谷住宅全体では1号棟から8号棟まであり、管理している戸数は72戸ですがそのうち入居しているのは46戸となっています。入居者を募集しても応募する人が少なくなっており、現在市内7か所にある市営住宅も含め、市民に求められている住宅とは何なのか。現在の社会情勢や家族構成に即した市営住宅のあり方を再考する時期にあるのではないのでしょうか。



給水ポンプ場



リフォームしたダイニングキッチン

# 令和5年度決算 原案すべてを可決 安定した持続可能な市民サービスが提供できたか！

一般会計

歳入 **334億5000万円**

対前年度比0.6% 2億円の増額

歳出 **316億5000万円**

対前年度比1.2% 3億8千万円の増額

経常収支比率は**93.6%** 前年度値91.6%から2%増加

令和5年度の一般会計歳入は、地方交付税交付金や国庫支出金などの依存財源の増額とともに、地方税やふるさと寄附金などの自主財源も増額となった。

一方の歳出についても、おくの義務教育学校一体型校舎建設やふるさと寄附増額に伴う返礼事業により増額となった。

各会計別決算総括表

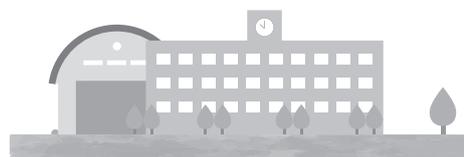
(単位：百万円)

会計	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	35,067	33,499
	歳出	35,056	31,708
国民健康保険	歳入	7,700	7,261
	歳出	7,700	7,260
介護保険	歳入	6,381	6,838
	歳出	6,381	6,259
後期高齢者医療	歳入	2,454	2,353
	歳出	2,454	2,353
青果市場	歳入	17	15
	歳出	17	14
下水道	収入	1,665	1,612
	支出	1,613	1,560

**監査委員の報告より抜粋**  
全国的な少子高齢化、変化の著しい社会情勢の中で、人口減少に伴う税収減、社会保障費の増大、公共施設の老朽化、膨らむ人件費など、課題は山積している。  
職員一人ひとりが直面する重要課題に積極的に挑んでいくためにも、ポストコロナを意識した行財政運営を望むものである。

## 気になる借金（市債）と預金（基金）は？

	令和5年度 (令和4年度)
市債残高 (全会計)	305億4800万円 (316億6800万円)
基金残高	93億2900万円 (82億4800万円)



知<sup>得</sup>!

## 決算の認定って？ なんでこの時期なの？

決算は、牛久市に入ったお金（収入）や使ったお金（支出）の実績です。決算の認定とは、1年間の決算の内容について、議会が確認して、確定することです。

議会では、使われ方が正しいか、事業の成果があがったかなどを審査します。

決算の審査は、使われた結果を検討することで、今後の予算編成に反映させ、お金の使われ方を適正で効果的にしていく役割があります。

決算特別委員会

委員長 池辺 己実夫 副委員長 高嶋 基樹  
委員 黒木 のぶ子 須藤 京子 小松崎 伸  
山本 伸子 伊藤 裕一 鈴木 勝利  
大森 和夫 塚原 正彦 加藤 政之

令和6年3月31日 会計年度（令和5年度）終了

### 出納整理期間

事業が終わった後に金銭の精算をするための期間。令和5年度の事業に係わる現金の未収や未払いの整理を行う。

令和6年5月31日

出納を閉鎖

### 決算の調製

会計管理者は決算書を作成し、市長へ提出する。

### 監査委員の決算審査

監査委員は決算審査を行い、意見書を作成する。

令和6年9月

議会提出

### 令和6年第3回定例会

議会は決算特別委員会に付託し、審査を行う。

# 財政の硬直化につながらないように、費用対効果の検証を審査

## グリーンファームの 再生に向けて

第3セクターの農業法人の赤字脱却へ経営安定化補助金を交付



農業や漁業団体等の活動を支援する  
1000万円

### 議員のここチェック

問 経営安定化補助金の使い道と経営がどれほど安定したのか。

答 令和5年末に運転資金がほぼない状況に陥り、融資を受けた返済金の支払いが滞る寸前であったが、補助金により危機的な状況を脱し、新たな作物や農業資材を購入することができ、令和5年度については黒字決算となった。

### 私もひとこと



牛久グリーンファーム株式会社  
佐藤 尚徳さん

第3セクターの農業法人として、従業員一同、学校奉仕作業・登下校の見守り・園児の収穫体験等、顔の見える活動を通して、一層の経費削減により経営を安定化させ、牛久市の農業振興に寄与します。

## 被災地を物資と派遣の 両面で支援

能登町などへ10人の職員を派遣



能登半島地震による被災団体を  
支援する 336万円

### 議員のここチェック

問 被災地への支援の具体的な人数や支援地は

答 派遣人数は10名で、9名は能登町でそのうち2名が避難所運営、5名が家屋の被害認定調査、2名は牛久市独自で非常食3750食とブルーシート200枚の支援物資を届けた。残る1名は保健師で輪島市へ派遣した。

### 私もひとこと

牛久市防災課  
杉山 正光さん



令和6年元日、能登半島を大地震が襲いました。

何故正月にと案じつつ、能登町の避難所に入ると、津波で被災した住民が日課を務める姿がありました。9月にも豪雨災害で尊い人命が失われました。この二重被災に難渋する人々の心はいかばかりでしょうか。僅かでも、元の日常に戻れるよう祈って止みません。

## 子育ての楽しさを！

産後ケアの利用者大きく増加



ひたち野うしくにある産後ケア施設「AteLu (アテルル)」

子育て世代包括支援センターを設置し利用者支援事業を実施する  
1277万円

### 議員のここチェック

問 産後ケア利用料減免の対象者と委託先及び財源は

答 一人につき1回から10回まで助産師による保健指導が受けられ、そのうち1回から5回までが利用料減免となっている。産後ケアの内容としては、宿泊、通所、訪問、託児などがあり、委託医療機関は現在8か所で市内には2か所となっている。財源については2分の1が国からの財源である。

### 私もひとこと



アテルルのみなさん

通所と宿泊がありますが、宿泊を希望する方の利用が多くなっています。親子でゆっくりとした時間を過ごしていただき、産後ケアのあともプレスクールや一時保育などにつなげて切れ目のない子育て支援を目指しています。

# お金はどう使われた?議会の視点👁️市民の声📣

## 温暖化対策は待ったなし

ゼロカーボンの取り組みを前へ進めよ



ゼロカーボンのまちづくりを推進する **291万円**

### 🏠 議員のここチェック

**問** 温暖化対策実行計画での温室効果ガスの削減目標を2030年までに2013年度比33.3%削減としているが、現状はどうか。

**答** 市から排出される温室効果ガスについて、産業、業務、家庭、運輸、産廃物部門の5部門に分類し削減目標を設定しており、産業部門以外は削減となっている。削減量は直近の数値は2013年度に比べて2020年度がプラス1.9%と増えている状況にあり、産業部門のCO2を減らすために補助制度の周知を図っていく。

### 私もひとこと👤

環境イベント  
実行委員長  
いのうえ たけし  
井上 健さん



現時点で1.9%超過しており、削減目標の達成は難しいと感じます。またゼロカーボンの課題は排出する側だけでなく吸収側も取り組まなければ達成しない。

改めて現実的な数値目標の設定も検討する必要がある様に感じました。

## 最高額の寄附金額を達成

ふるさと寄附金が過去最高額



ふるさと寄附に対し特産品を返礼する **3億9596万円**

### 🏠 議員のここチェック

**問** 寄付額が7億7千万円と大きく増額になった要因は。

**答** 寄附が増額になった要因としては、返礼品のラインアップを強化し833品目まで増やした。ポータルサイトも拡充し5年度は新たに5つのサイトを開設して合計13のサイトで運用している。また新規の返礼品協力事業者の開拓を進め現在145事業者となっている。県の共通返礼品の活用も進め、特に常陸牛の返礼品は県内で2年連続1位となっている。

### 私もひとこと👤



返礼品のチーズケーキを作っている  
洋菓子店カマンベールの塚原さん

チーズケーキを全国にお送りしご賞味いただくこととなりました。結婚や就職で牛久を離れた方が、「幼いときに食べたケーキが懐かしくて」と注文していただくこともしばしばあります。覚えていてくださったのだからうれしく思います。

## 生徒にとってよりよい部活動のために

休日の部活動の地域移行 現在は野球、サッカー、女子バレー  
(令和6年度はバドミントンも追加)



運動部活動の地域移行を推進する **302万円**

### 🏠 議員のここチェック

**問** 令和5年度の地域移行はどう進んだのか。また指導者の確保に向けての取り組みは。

**答** 月3回で年間36回の実施回数となり、種目は4年度と変わらない。保護者からは1000円の参加費をいただきNPO法人に業務を委託している。指導者は委託先がスクールコーチの経験者など必要な指導者の確保を行っており、今後もコーチ経験のある方や県の人材バンクに登録がある市内の方を指導者として派遣できるような体制を令和8年度に向けて検討していきたい。

### 私もひとこと👤

休日部活動の指導者

競技歴が豊富な指導者から専門的な技術や知識を学べる事は大きなメリットです。

現在は完全に別れて活動している通常の部活動と地域部活動が、どのように連携を取って地域移行を進めていくかが課題だと考えています。